

## 2019 (令和元)年度補正予算概要の説明

本学は、2026年に創立100周年を迎えることから、昨年5月の理事会において第3次中期マスタープランを策定し、「大正大学魅力化構想7ヵ年総合戦略(MIGs2026 アジェンダ)」として周知されています。

この総合戦略には学修支援体制の充実と学生サービスの徹底が必須であり、そのために、新8号館の建設によるスペースの確保と、総合学修支援体制「DAC」の組織化を推進します。

従って、2019年度補正予算は、当初予算に引き続き新8号館の中間時支払金及びDAC開設を含めた「魅力化予算(MIGs 予算)」を中核とした編成になります。

なお、今年度の補正予算の方針として、予備費計上額の5,000万円を超えるものについて補正を行い、そのほかについては、当初予算額を継承しました。

説明においては、金額の表記を百万円単位とし、10万円台を四捨五入します。

### ◎ 2019年度補正予算の主なポイント

#### ① 学生生徒等納付金収入の修正補正予算 5,160百万円、当初予算 5,243百万円

入学者数について、入学定員の厳格化により減少、また在学生数については、今年度に入ってからの変動及び退学者が想定よりも多かったことにより、当初予算と比較して83百万円減額に修正しました。

#### ② 魅力化予算(MIGs 予算)の新規計上補正予算 174百万円

大正大学魅力化構想を具現化するための予算として、学生支援ポートフォリオシステム開発 61百万円(最大経費)、DAC 開設関係 5百万円、チューター養成 13百万円、地域人材育成 17百万円、アントレプレナーシップ養成 11百万円、無線 LAN 環境整備 57百万円等を計上しました。

#### ③ 有価証券売却収入及び有価証券購入支出の新規計上

補正予算(有価証券売却収入) 500百万円、(有価証券購入支出) 100百万円

8号館建築の中間時支払金額に充当するため、5月に購入した有価証券に係る100百万円の有価証券購入支出と、これを含めた総額500百万円の有価証券売却収入を計上しました。

### ◎ 資金収支補正予算の概要

#### 1 資金収入の部

資金収入の部における予算の補正金額は、学生生徒等納付金収入の83百万円減額修正、資産売却収入(有価証券売却収入)500百万円の新規計上、前期末未収入金収入の実績への修正33百万円、前期末前受金の実績への修正71百万円、前年度繰越支払資金の実績への修正減256百万円の1,724百万円となりました。

#### 2 資金支出の部

資金支出の部における予算の補正金額は、人件費支出の見直し(新学部・新研究科設置に伴う人件費を想定し余裕を持たせた教員人件費としていたため減額した。一方、DACに専任専門職員を5名採用したため、

職員人件費を増額した。)による減額 56 百万円、魅力化構想として人件費支出 2 百万円、教育研究経費支出 106 百万円、管理経費支出 9 百万円、施設関係支出 58 百万円で合計 175 百万円の新規予算計上、前期末未払金支払支出の実績への修正 54 百万円、前期末前払金の実績への収支 5 百万円となり、翌年度繰越支払資金は 2,077 百万円となりました。

#### ◎事業活動収支補正予算の概要

予算補正後の事業活動収入 6,499 百万円に対して、事業活動支出 6,447 百万円で基本金組入前当年度収支差額は 52 百万円(0.8%)となり、当初予算の基本金組入前当年度収支差額は 197 百万円(3.0%)に対して 145 百万円の減少となりました。この主たる要因は、学生生徒等納付金の収入減 83 百万円と魅力化構想の支出増 116 百万円、教職員人件費 55 百万円支出減、と退職給与引当金組入額 3 百万円支出増です。

以上